

2025年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任		
	総合的な探究の時間	1	1年次	1年次教員		
選択するときの条件						
使用教科書			使用副教材			
科目の目標			道徳教育のねらい			
<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>			<p>自己理解を深め、主体的に目標に向かう意欲と態度を育む。また、他者理解や他者との協働意識を深める中で、価値観の多様化が進む現代社会において主体的に判断し行動する能力を育てる。</p>			
学習活動内容	育てたい6つの力（資質・能力）					
	1	2	3	4	5	6
	主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
1	自己の在り方生き方を考える。		○		◎	
2	講演会	◎				
3	課題探究発表会見学	◎				
4	未来大訪問	◎				
5	小論文		◎	◎		◎
6	探究・函館学まとめ				◎	
評価の観点	知識・技能	思考 判断 表現		主体的に学ぶ態度		
	探究活動に必要な知識や技能を身に付け、それらを活用し、探究する力を身につけている。	<p>広い視野に立ち、自分の興味関心だけでなく、変化する社会の現状を踏まえて問いを立てている。</p> <p>適切な方法でデータなどの基礎情報、自分の体験や取材をもとにした一次情報・文献などから二次情報を十分かつバランスよく集め、課題に取り組んでいる。</p> <p>伝えたいことや狙いを絞ったうえで予備知識のない他者に伝えている。</p>		<p>積極的に文献を読み、データを収集し、探究に反映しようとしている。</p> <p>必要に応じ、他クラス、他ゼミ、担当以外の教員の方も借り、探究活動を行おうとしている。</p> <p>他の生徒の探究活動も積極的に支援しようとしている。</p>		
評価の方法	次の3観点において、文章にて評価を行う。					
	教科・科目における各観点	授業における取組		各種レポート・ワークシート		成果物
	知識・技能	○		◎		○
	思考・判断・表現	○		○		◎
主体的に学ぶ態度	◎		○		○	

総合的な探究の時間 授業計画

授 業 計 画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4 5	自己の在り方生き方を考える。(8)	・社会課題と仕事や学問の関係を知り、社会へ積極的に関わろうという姿勢を養う。	単元の最後には振り返りを行い、AiGROWを受検する。		
	6	講演会 (3)	・社会の第一線で活躍する方の講演を聴き、視野を広げ、多様な生き方があることを知る。 ・職業人による専門分野の講義を受け、自分の興味関心を深め将来について考える。	・講演会 (3)		
	7 8	探究の基礎 (4)	・本格的な探究活動を前に、探究のサイクルを理解し、実践する。			
	9	課題探究発表会見学 (3)	・3年次生の発表を見学し、本校の「課題研究」の在り方を理解する。 ・発表内容を聴き内容を理解する力と自分自身の学びにつなげる力を付ける。	・課題研究発表会見学 (3)		
後 期	10	未来大訪問 (3)	・未来大を訪問し、大学とは何かを学ぶ。 ・未来大の特徴であるプロジェクト学習を見学し説明を聞くことで、大学における研究活動の意義を学ぶ。	・未来大訪問 (4)		
	11 12 1 2 3	小論文 (15)	・探究的学習のプロセス (課題の設定、情報整理・分析・まとめと表現) とその手法を理解し、学びを深める力を付ける。 ・小論文の書き方を学び自らの考えを論文の形にまとめることで、論理的な思考や表現の力を付ける	単元の最後には振り返りを行い、AiGROWを受検する。		